



株式会社 **ニコン**
経営戦略本部
広報・IR部

2016年3月期 第1四半期 決算説明会

2015年8月6日
株式会社ニコン

※本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現在における入手可能な情報に基づき当社が判断した内容であり、潜在的リスク及び不確実性が含まれます。従いまして、様々な要因の変化によって、実際の業績は記述されている内容と大きく乖離する結果となる可能性があることをご承知おきください。

Agenda

I . 2016年3月期 第1四半期の概況

II . 2016年3月期の見通し

III . 参考データ

2016年3月期 第1四半期ポイント

◆前年1Q比、会社全体では 48億円増収、4億円営業増益。

【精機】

・前年比 10億円増収、営業損失は16億円縮小。

【映像】

・前年比 24億円増収、16億円増益。

【インストルメンツ】

・前年比16億円増収、営業損失は横ばい。

2016年3月期 第1四半期 連結売上高・損益

株式会社ニコン
経営戦略本部
広報・IR部



単位: 億円	15年3月期 1Q	16年3月期 1Q	前年実績比
売上高	1,774	1,822	+ 48
営業利益 売上高比	35 2.0%	39 2.1%	+ 4
経常利益 売上高比	46 2.6%	69 3.8%	+ 23
当期純利益 (親会社株主に帰属) 売上高比	36 2.0%	33 1.8%	▲ 3
FCF	▲ 206	▲ 306	▲ 100
為替 ドル ユーロ	102円 140円	121円 134円	売上高への影響額 + 125 営業利益への影響額 ▲ 5

* スライドで使用している数値は億円未満は切り捨ててあります。

2016年3月期 第1四半期 精機事業

株式会社ニコン
経営戦略本部
広報・IR部



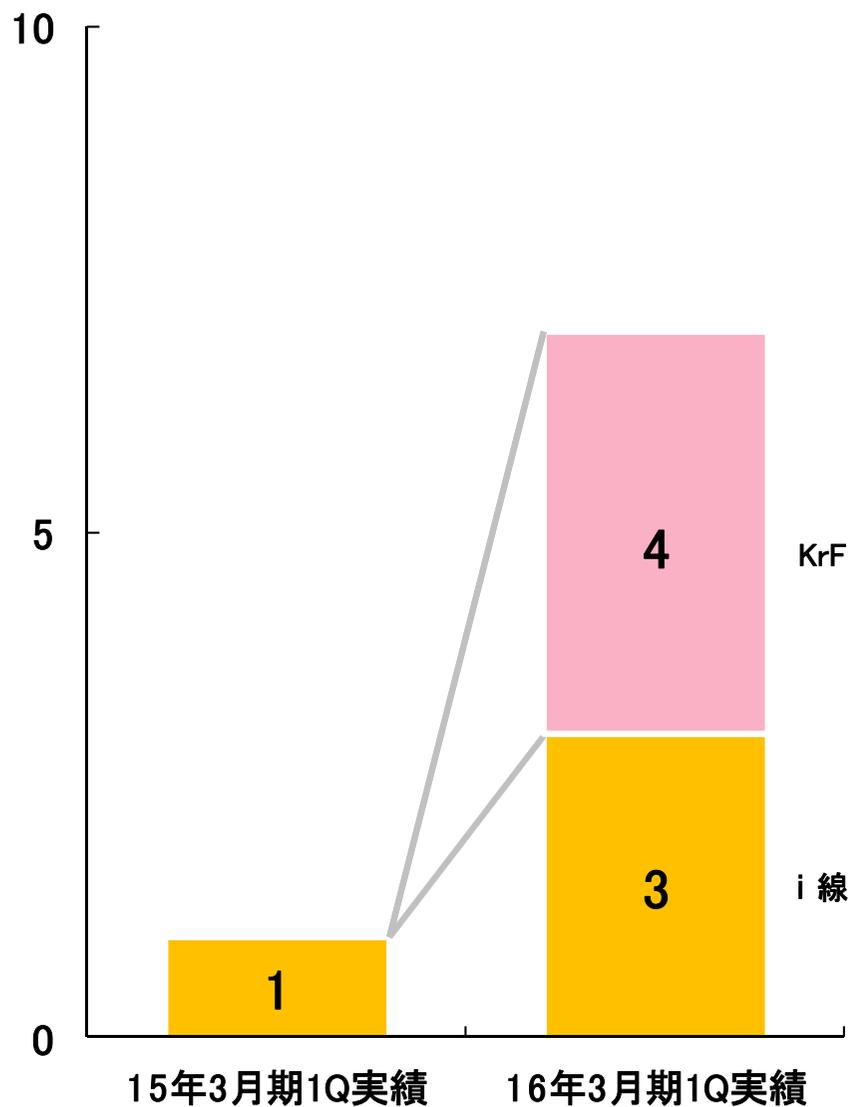
単位: 億円	15年3月期 1Q	16年3月期 1Q	前年実績比
売上高	235	245	+ 10
営業利益 売上高比	▲ 25 —%	▲ 9 —%	+ 16
半導体露光装置 新品/中古	0/1台	0/7台	±0/+ 6台
FPD露光装置	8台	6台	▲ 2台

半導体の中古装置およびサービス売上の増加により前年比増収。
加えて、半導体事業のコストダウンが進捗し、営業赤字幅は縮小。

2016年3月期 第1四半期 精機事業

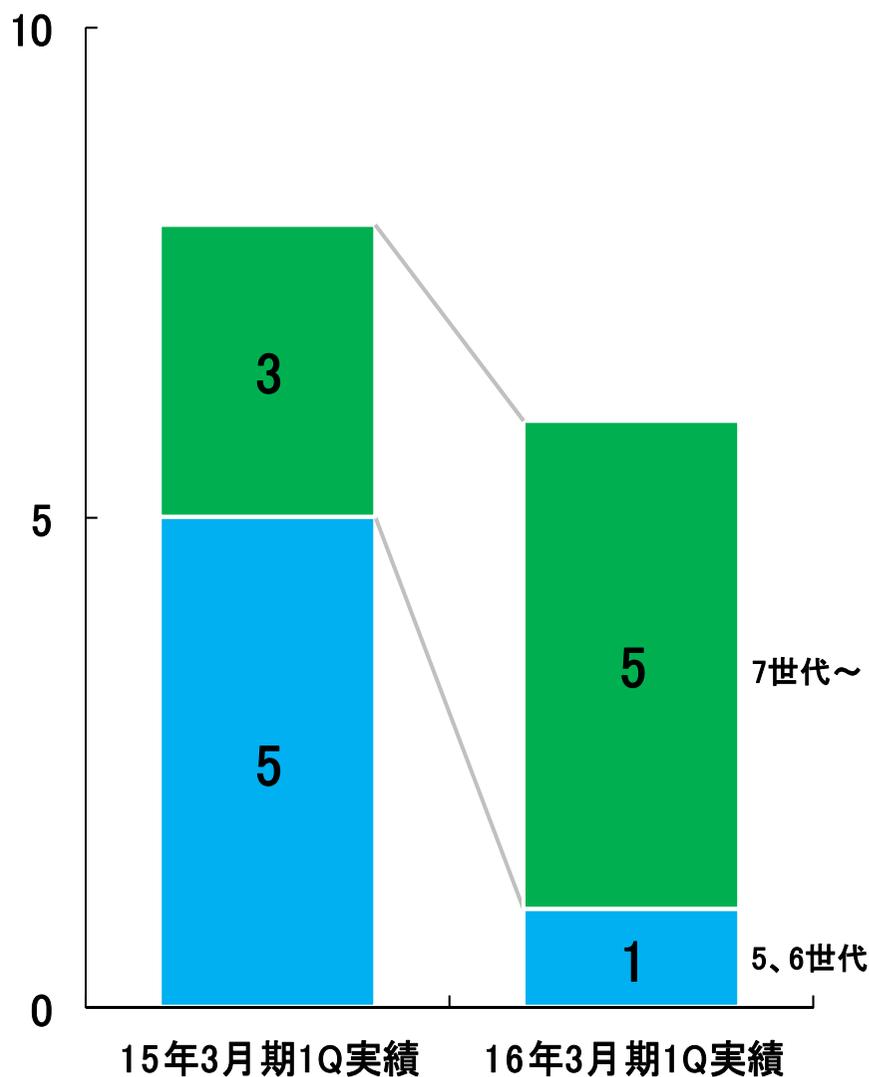
半導体露光装置光源別販売台数(中古含む)

単位:台



FPD露光装置世代別販売台数

単位:台



2016年3月期 第1四半期 映像事業

株式会社ニコン
経営戦略本部
広報・IR部



単位：億円	15年3月期 1Q	16年3月期 1Q	前年実績比
売上高	1,347	1,371	+ 24
営業利益 売上高比	118 8.8%	134 9.8%	+ 16
レンズ交換式 デジタルカメラ	110万台	104万台	▲ 6万台
交換レンズ	161万本	149万本	▲ 12万本
コンパクト デジタルカメラ	178万台	153万台	▲ 25万台

前年比、販売台数減少にも関わらず、売上高は円安効果で増収、営業利益は商品ミックス改善およびコストダウン効果により増益。

2016年3月期 第1四半期 インストルムツ事業

株式会社ニコン
経営戦略本部
広報・IR部



単位: 億円	15年3月期 1Q	16年3月期 1Q	前年実績比
売上高	124	140	+ 16
営業利益 売上高比	▲ 17 — %	▲ 17 — %	± 0

MS事業は海外での販売増、産業機器事業は電子部品・半導体の設備投資増加により増収。
営業利益は、研究開発費を増加させたため前年比横ばい。

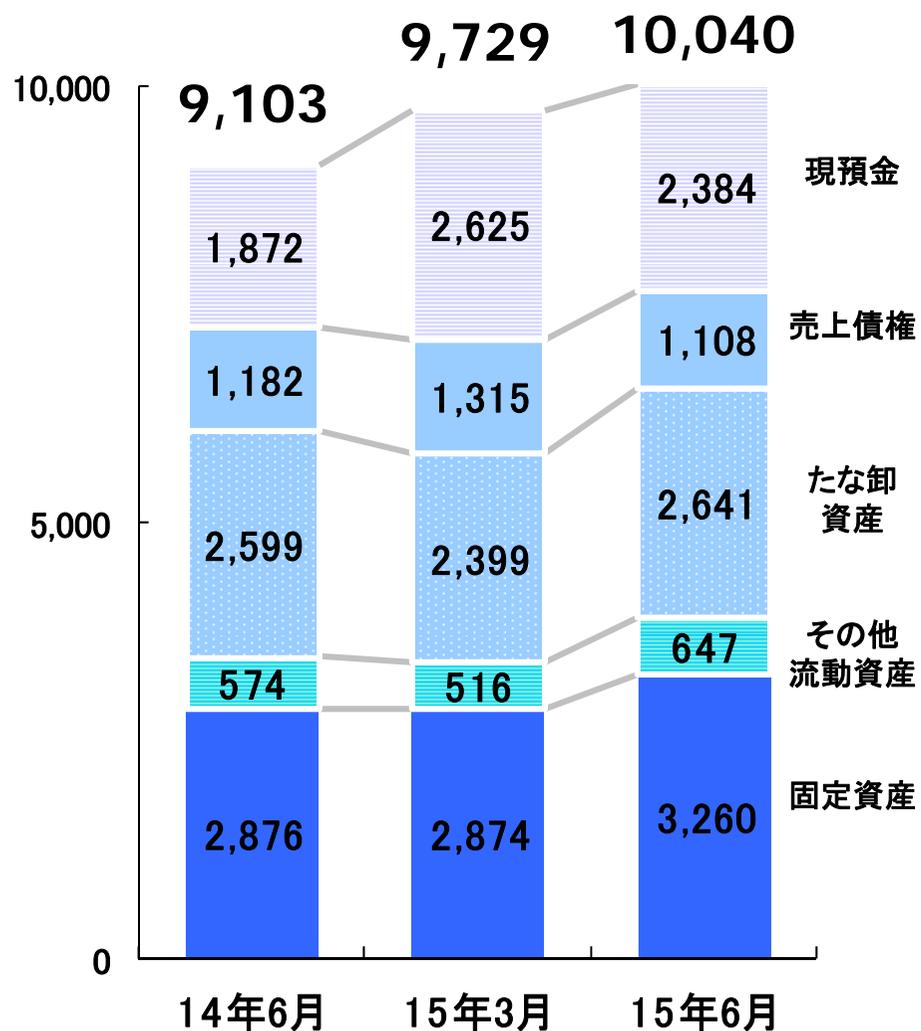
2016年3月期 第1四半期 B/S内訳

株式会社ニコン
経営戦略本部
広報・IR部



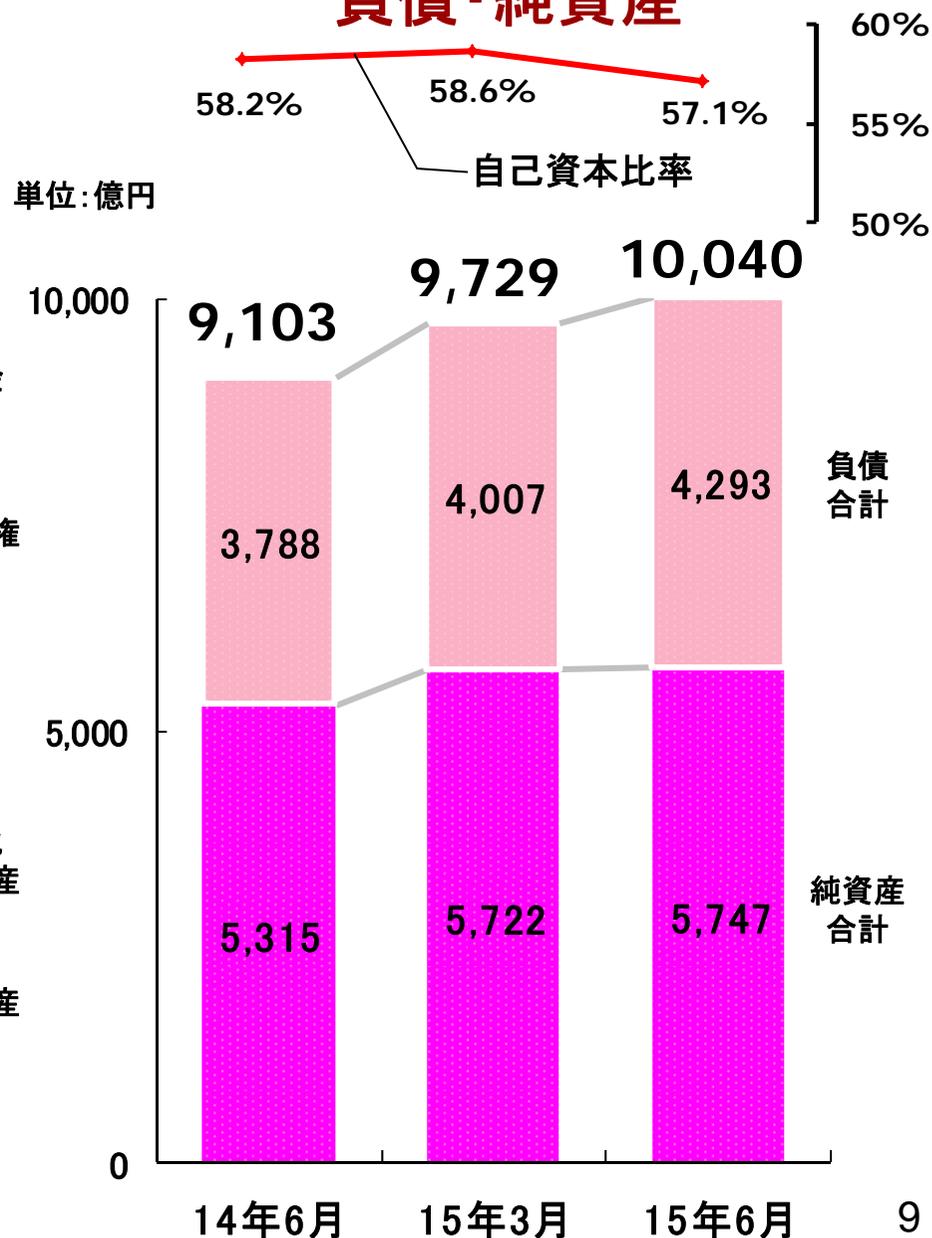
資産

単位: 億円



負債・純資産

単位: 億円



Agenda

I. 2016年3月期 第1四半期の概況

II. 2016年3月期の見通し

III. 参考データ

2016年3月期 見通しポイント

◆ 前回予想との比較では、上期の会社全体の見通しを上方修正。この結果、通期では売上高 8,700億円、営業利益 340億円に上方修正する。

前年比、売上高は微増、営業利益は22%減益の見通し。

【精機】

上期の営業利益を20億円上方修正するが、通期では前回予想を据え置く。前年比、23%増収、営業利益は2.4倍に増える見通し。

【映像】

上期の売上高を100億円、営業利益を40億円上方修正するが、下期は経済の先行き不安から据え置く。前年比、9%減収、26%減益見通し。

【インストルメンツ】

MS事業・産業機器事業ともに前回予想を据え置く。前年比、11%増収、営業利益はほぼ倍増の見通し。

◆ 2Q以降の為替前提はドル115円、ユーロ130円で変更なし。

◆ 年間配当金 16円(中間配当金 8円)の予定。

2016年3月期 見通し 連結売上高・損益

株式会社ニコン
経営戦略本部
広報・IR部



単位:億円	15年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (5/14)	上期 下期	16年3月期 見通し	上期 下期	前年 実績比	前回 予想比	上期 下期
売上高	8,577	$\frac{3,749}{4,828}$	8,600	$\frac{3,740}{4,860}$	8,700	$\frac{3,840}{4,860}$	+ 123	+ 100	$\frac{+100}{\pm 0}$
営業利益 売上高比	434 5.1%	$\frac{130}{304}$	300 3.5%	$\frac{20}{280}$	340 3.9%	$\frac{80}{260}$	▲94	+ 40	$\frac{+60}{\triangle 20}$
経常利益 売上高比	463 5.4%	$\frac{147}{316}$	330 3.8%	$\frac{40}{290}$	370 4.3%	$\frac{100}{270}$	▲93	+ 40	$\frac{+60}{\triangle 20}$
当期純利益 (親会社株主に帰属) 売上高比	183 2.1%	$\frac{100}{83}$	200 2.3%	$\frac{10}{190}$	200 2.3%	$\frac{50}{150}$	+ 17	±0	$\frac{+40}{\triangle 40}$
FCF	463		▲ 100		▲ 60		▲523	+ 40	—
為替 ドル	110円	$\frac{103円}{117円}$	115円		117円	$\frac{118円}{115円}$	売上高への予想影響額 約129億円		
ユーロ	139円	$\frac{139円}{138円}$	130円		131円	$\frac{132円}{130円}$	営業利益への予想影響額 約 ▲ 30 億円		

映像事業の見通し変更に伴い、通期の売上高と営業利益を上方修正。

2016年3月期 見通し 精機事業

単位：億円	15年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (5/14)	上期 下期	16年3月期 見通し	上期 下期
売上高	1,707	$\frac{549}{1,158}$	2,100	$\frac{700}{1,400}$	2,100	$\frac{700}{1,400}$
営業利益 売上高比	83 4.9%	$\frac{\blacktriangle 32}{115}$	200 9.5%	$\frac{\blacktriangle 20}{220}$	200 9.5%	$\frac{0}{200}$
半導体露光装置 新品／中古	19/13台	$\frac{5/1}{14/12}$	23/15台	$\frac{3/9}{20/6}$	23/15台	$\frac{3/9}{20/6}$
FPD露光装置	34台	$\frac{13}{21}$	50台	$\frac{19}{31}$	50台	$\frac{19}{31}$
半導体露光装置 市場規模 CY14/15	195台		200台程度		200台程度	
FPD露光装置 市場規模 CY14/15	54台		75台程度		75台程度	

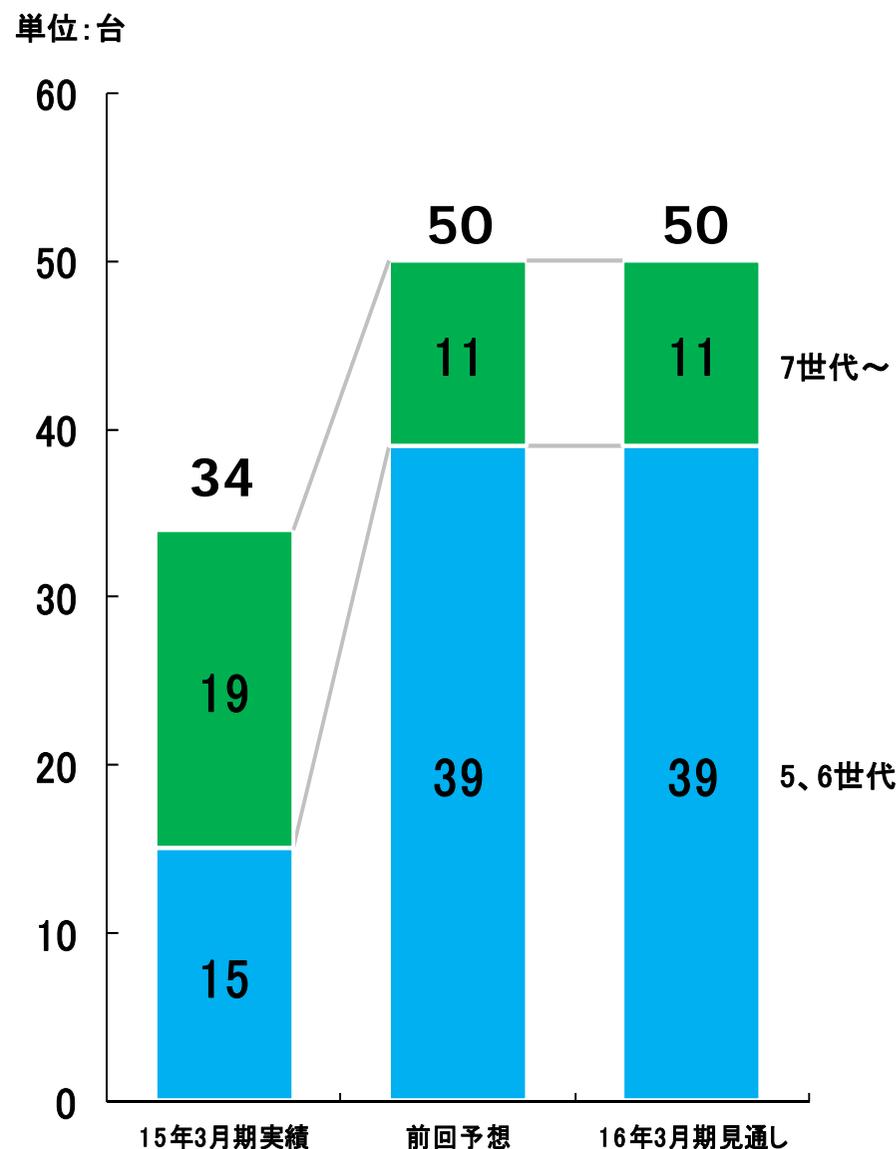
1Qの実績を織り込み、上期の営業利益を20億円上方修正。
通期では前回予想を据え置く。

2016年3月期 見通し 精機事業

半導体露光装置光源別販売台数(中古含む)



FPD露光装置世代別販売台数



2016年3月期 見通し 映像事業

株式会社ニコン
経営戦略本部
広報・IR部



単位: 億円	15年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (5/14)	上期 下期	16年3月期 見通し	上期 下期
売上高	5,860	$\frac{2,774}{3,086}$	5,250	$\frac{2,550}{2,700}$	5,350	$\frac{2,650}{2,700}$
営業利益 売上高比	566 9.7%	$\frac{275}{291}$	380 7.2%	$\frac{180}{200}$	420 7.9%	$\frac{220}{200}$
レンズ交換式 デジタルカメラ	461万台	$\frac{218}{243}$	425万台	$\frac{205}{220}$	425万台	$\frac{205}{220}$
交換レンズ	668万本	$\frac{309}{359}$	610万本	$\frac{295}{315}$	610万本	$\frac{295}{315}$
コンパクト デジタルカメラ	769万台	$\frac{357}{412}$	600万台	$\frac{290}{310}$	600万台	$\frac{290}{310}$
レンズ交換式デジタル カメラ市場規模	1,357万台		1,240万台		1,240万台	
交換レンズ 市場規模	2,262万本		2,060万本		2,060万本	
コンパクトデジタル カメラ市場規模	2,803万台		1,920万台		1,920万台	

上期は1Q実績を踏まえ、売上高・営業利益ともに上方修正。
下期の見通しは据え置く。

2016年3月期 見通し インストルメンツ事業

株式会社ニコン
経営戦略本部
広報・IR部



単位: 億円	15年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (5/14)	上期 下期	16年3月期 見通し	上期 下期
売上高	723	$\frac{285}{438}$	800	$\frac{320}{480}$	800	$\frac{320}{480}$
営業利益 売上高比	11 1.5%	$\frac{\blacktriangle 21}{32}$	20 2.5%	$\frac{\blacktriangle 15}{35}$	20 2.5%	$\frac{\blacktriangle 15}{35}$

MS事業・産業機器事業ともに受注堅調で、増収増益の見通し。

2016年3月期 見通し メディカル事業

株式会社ニコン
経営戦略本部
広報・IR部



単位：億円	15年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (5/14)	上期 下期	16年3月期 見通し	上期 下期
売上高	—	—	150	$\frac{50}{100}$	150	$\frac{50}{100}$
営業利益 売上高比	— —%	—	▲ 60 —%	$\frac{▲30}{▲30}$	▲ 60 —%	$\frac{▲30}{▲30}$

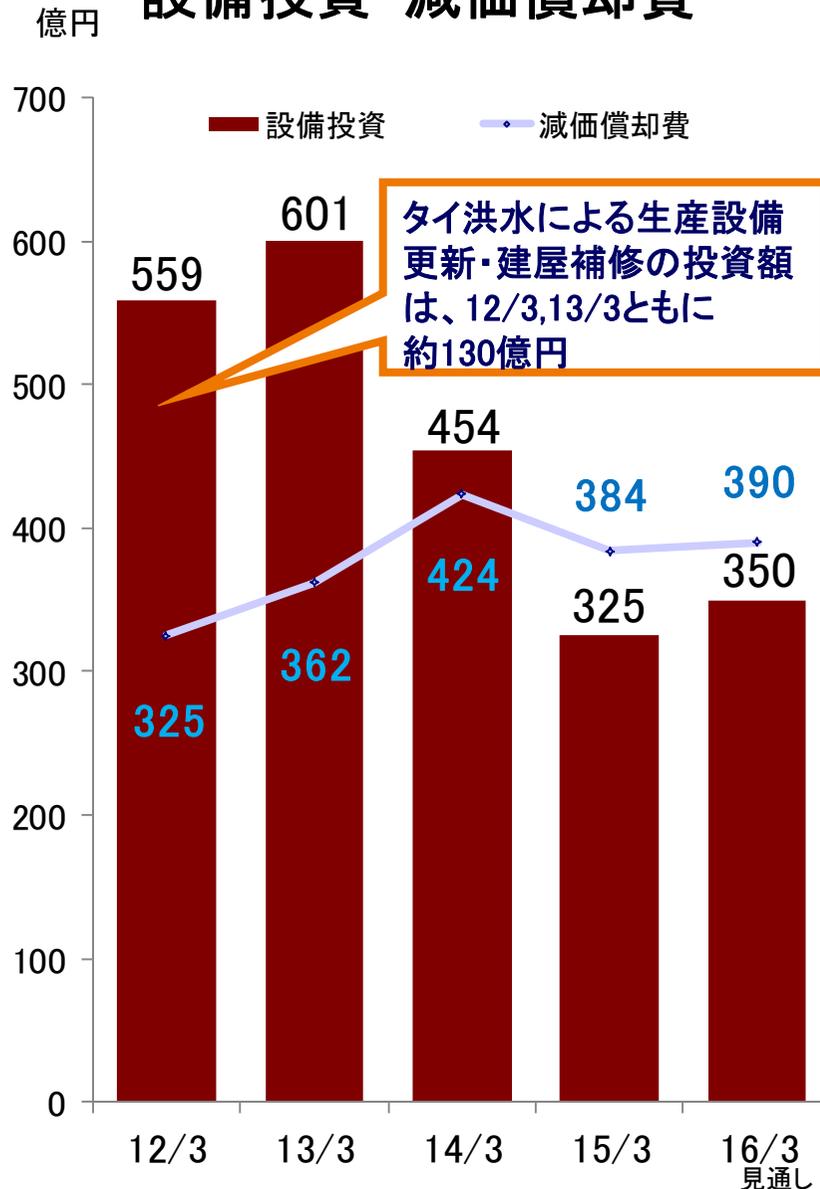
通期見通しは変更なし。

英国Optos社の完全子会社化完了。第2四半期より売上・利益計上。
のれん償却の今期 計上分は約26億円。

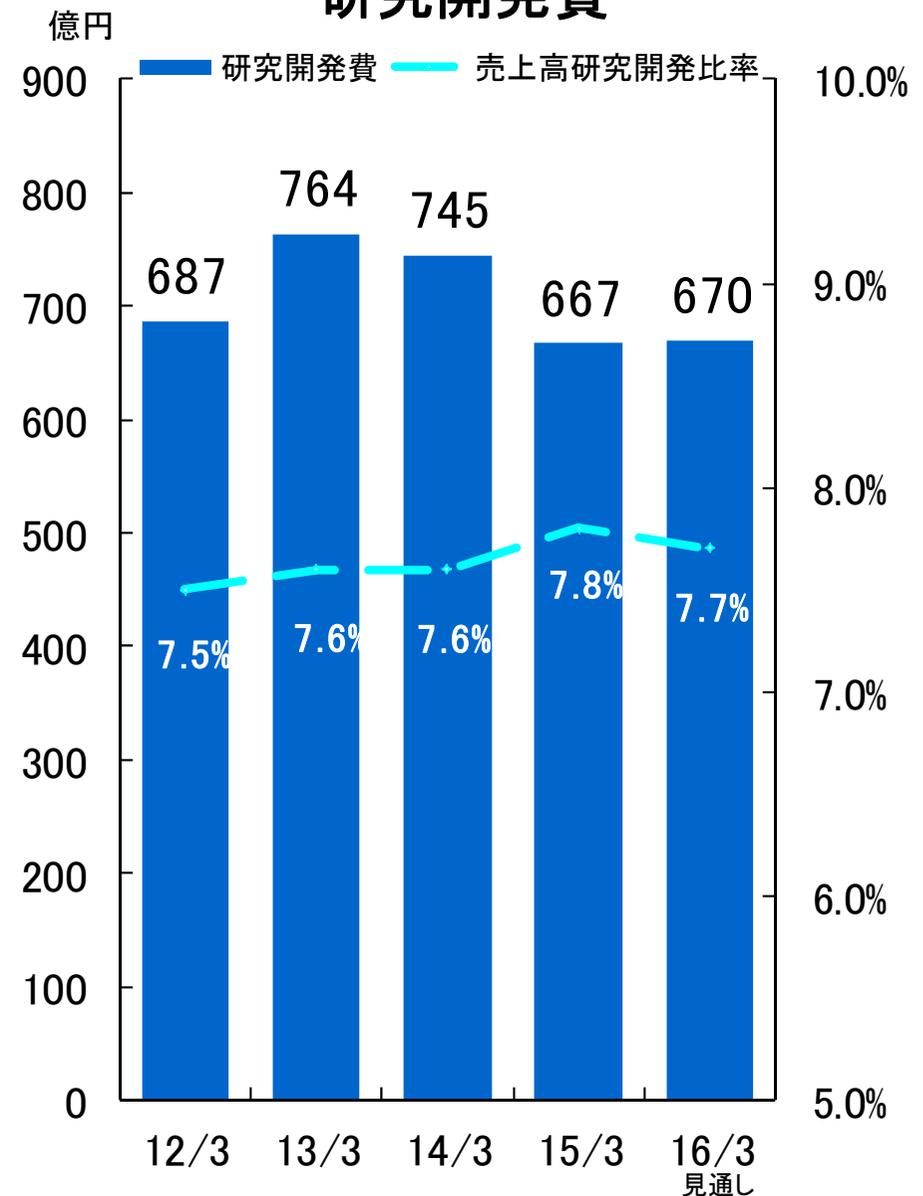
2016年3月期 見通し 設備投資・減価償却費 研究開発費



設備投資・減価償却費



研究開発費



* 2015年3月期より、ニコングループの減価償却方法を定額法に統一

Agenda

I. 2016年3月期 第1四半期の概況

II. 2016年3月期の見通し

III. 参考データ

参考データ 為替の影響

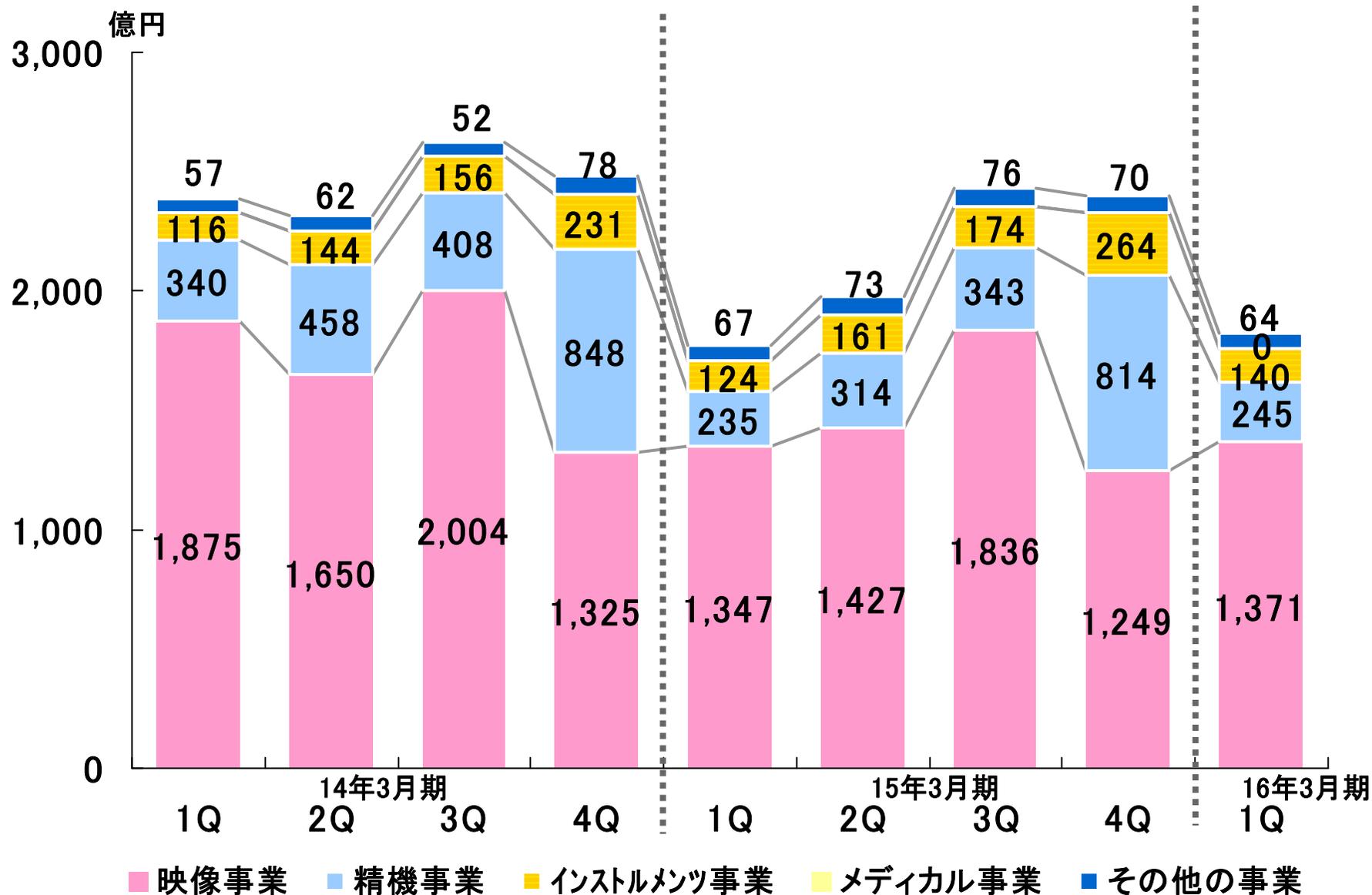
株式会社ニコン
経営戦略本部
広報・IR部



2016年3月期 見通し

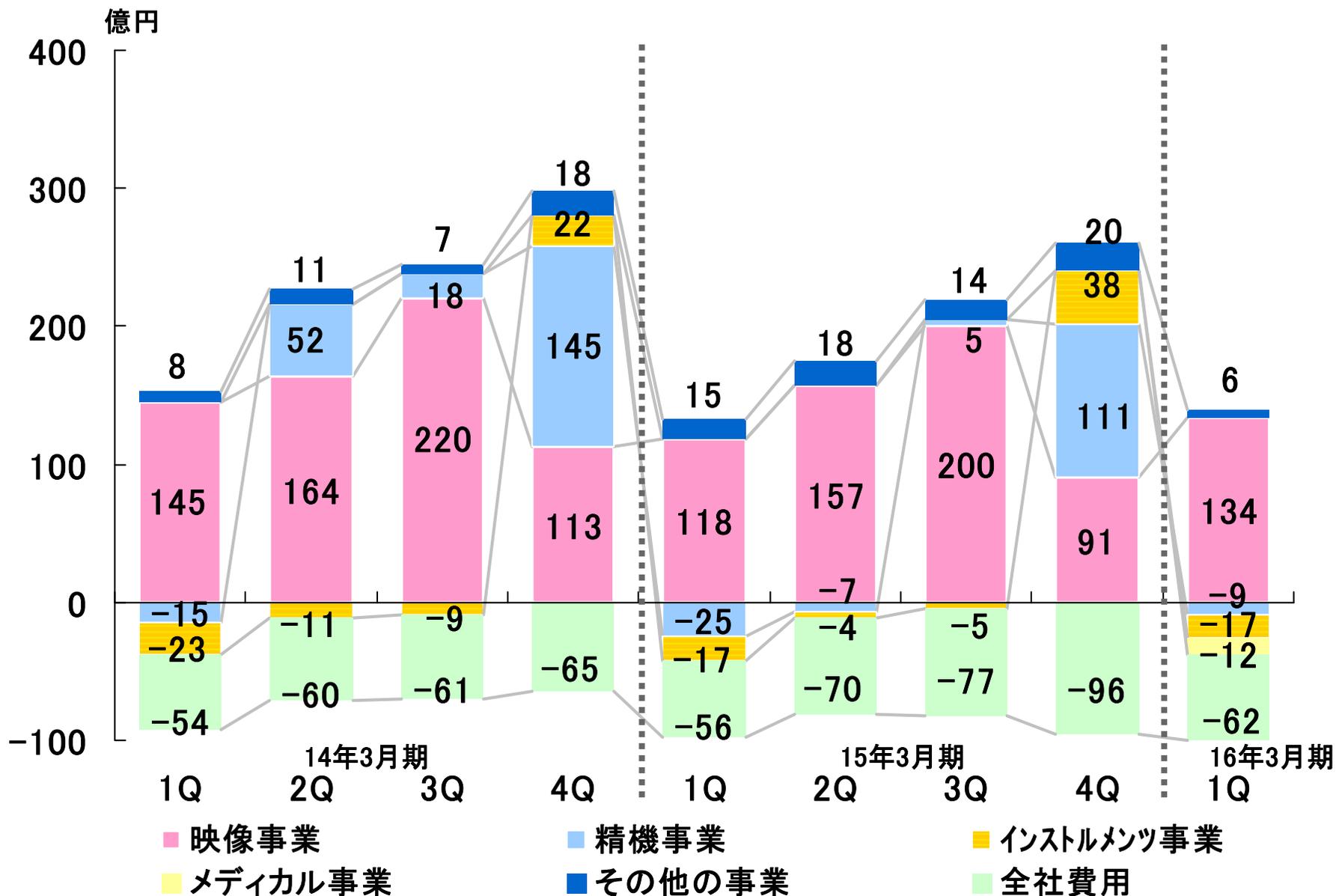
	為替レート	1円の変動による影響額	
	16年3月期 2Q~4Q前提	売上高 2Q~4Q	営業利益 2Q~4Q
USDドル	115円	約 28億円	約 3億円
ユーロ	130円	約 8億円	約 4億円

参考データ 四半期セグメント別売上高推移



* スライドで使用している数値は億円未満は切り捨ててあるため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。

参考データ 四半期セグメント別営業利益推移



* スライドで使用している数値は億円未満は切り捨ててあるため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。



NIKON CORPORATION